

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款： 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

### 事業名 校務事務統合管理システム運用事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111 (内3667)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,215 千円 (前年度予算額： 2,215 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,215	0	0	0	0	0	0	0	2,215
要求額	2,215	0	0	0	0	0	0	0	2,215
決定額									

#### 2 要 求 内 容

##### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

訓練生の多様化 (留学生の増) や年々増え続ける卒業生のセンシティブデータの管理及び各種証明書の発行事務、生活指導・就職支援を中心とした指導員業務の多様化等、複雑化する校務事務を簡素化、効率化することを目的に構築した、校務事務統合管理システムの保守管理を行う。

##### (2) 事業内容

国際たくみアカデミーにおける校務事務統合管理システムの保守費

(3) 県負担・補助率の考え方  
県

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,215	校務事務統合管理システムの保守・運用費用
合計	2,215	

#### 決定額の考え方

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和4年度に構築した国際たくみアカデミーの校務事務総合管理システムについて、令和9年度まで保守管理を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

業務効率化・インシデント防止のための統合的なシステムの保守管理であり、数値的な指標を設けることは困難である。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	システム構築
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	国際たくみアカデミーにおいて、システムを活用して訓練生等のデータ管理、各種証明書の発行業務等の校務事務を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	国際たくみアカデミーにおいて、システムを活用して訓練生等のデータ管理、各種証明書の発行業務等の校務事務を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画の「10. 産業・労働」の中で位置付けられている。 ・生活指導・就職支援を中心とした指導員の業務の多様化の課題解決、指導の質向上や訓練生へのサービス還元のため、校務事務を統合的に管理するシステムを活用する。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>当システムの稼働により、授業の出席や、各種証明書の発行など、これまで手書きで処理していた事務をシステムで一元化できており、業務効率化に繋がっている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>システムで校務事務が一元化されることで、手書きの事務が減り事務が簡素化されたほか、ヒューマンエラーの削減にも繋がっている。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 随時、システムの検証等を実施しながら、校務事務を進めていく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職業能力開発校DXを推進するための体制整備、事務整理を行い、質の高い訓練サービスへつなげるための事業。校内で随時システムの検証を行い、必要な改善を行いながら、次年度以降も当該システムを活用して校務事務を進めていく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	